

計画策定専門調査会（第10回）議題に関する意見

横浜市長 林 文子

1 「男性中心型労働慣行等の変革と女性の活躍」について

あらゆる分野における女性の活躍を実現するためには、男性型の働き方の見直しが不可欠であり、その中心となる「**長時間労働の是正**」について、今回の答申「第4次男女共同参画基本計画策定に当たっての基本的な考え方（素案）」に具体的に盛り込まれていることは、大変意味あることと思います。

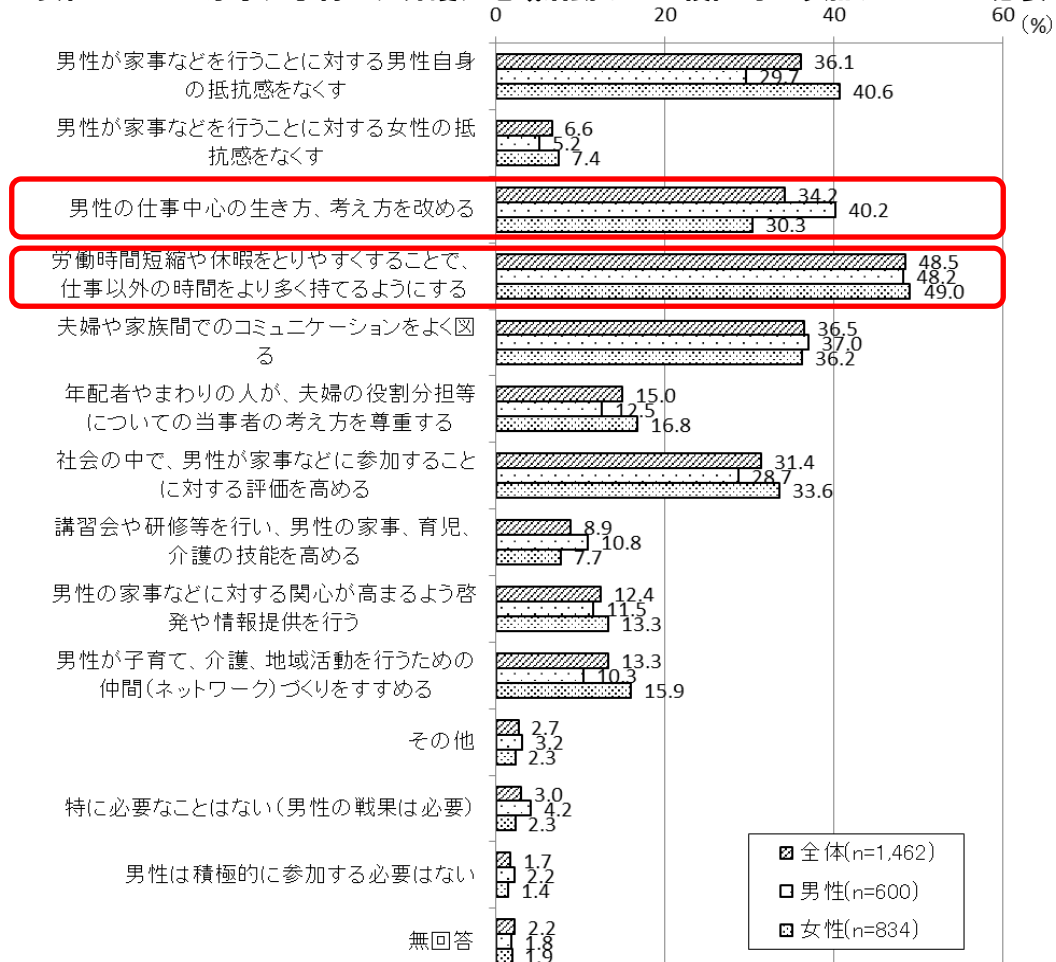
横浜市の「男女共同参画に関する市民意識調査（平成26年度）」においても、男性が家事・子育てに参加するために必要なこととして、**男女ともに「労働時間短縮や休暇をとりやすくすることで、仕事以外の時間をより多く持てるようにする」ことが最も割合が高く、男性においては「男性の仕事中心の生き方、考え方を改める」ことが、次に高くなっています。**

今後は、家事・育児・介護等への男性の参画促進はもちろん、地域の担い手を確保していくためにも、「**男女ともに働きながら地域活動に参加する**」ことを可能とする必要があります。

このためには、家事や育児・介護に加えて、「**地域活動への参加**」も生活場面における大切な役目であることを企業が理解し、参加しやすい風土を醸成する必要があるため、企業向けの「**地域活動への理解の促進**」と活動の前提となる**長時間労働の是正、WLB**についても、答申に盛り込んでいただきたいと思います。

「横浜市 男女共同参画に関する市民意識調査（平成26年度）」

男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動などに積極的に参加するために必要なこと



2 政策・方針決定過程への女性の参画拡大について

政治分野の取組において、**女性候補者等の数値目標の設定やクォータ制を盛り込むことは、**政策に女性の視点を活かし、**今後日本が国際的な評価を得ていく上でも重要なこと**であり、望ましいことだと思います。

今回の答申において、「2020 年に指導的地位に占める女性割合 30%」という目標に向けて、更なる努力を行うとともに、女性参画が遅れている分野を中心に、将来、指導的地位に成長していく人材プールに関する目標を定め、人材プールを厚くするための取組を大胆に推し進めるとしているのは意味あることです。

あわせて、**地方自治体において、202030 を意識した取り組みが進んでおり、その動きを加速させていかなければなりません。**

そのため、「具体的な取組」において、「地方公共団体において積極的に女性の参画拡大を推進するよう要請する」との記載に加えて、**2020 年までの残り 5 年で「30%」に可能な限り近づくための努力を行う等**の記載を盛り込み、**各主体の高い目標設定を促すべき**だと思います。